

展示室 1c 象徴主義からナビ派まで―ルドンと19世紀フランスの画家たち

2025年4月8日(火)から7月13日(日)

○印は6月1日(日)まで、●印は6月3日(火)から展示 *印は寄託作品

眼に見えない人間の内面世界を視覚化しようとした象徴主義から、それらの影響を受けた総合主義やナビ派まで、20世紀以降の多彩な芸術運動の素地を築きあげた19世紀末のフランス芸術を、オディロン・ルドンを中心に紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法素材
ギュスターヴ・モロー	1862-1898		ピエタ	1854	油彩、画布
			せい 聖セバスティアヌスと天使	1876頃	油彩、画布
オディロン・ルドン	1840-1916	○	きげん 『起源』IV.セイレーンは無数の針をつけて波	1883	リトグラフ、紙
			みま あらわ 間から現れた		
		●	ひかり よこがお 光の横顔	1886	リトグラフ、紙
			ばらいろ いわ 薔薇色の岩	1880頃	油彩、画布
			カインとアベル	不詳	油彩、画布
			ファエトンの墜落	1905-06頃	油彩、板
			アポロンの戦車	1906-07頃	油彩、画布
ポール・ゴーギャン	1848-1903	○	せんたくおんな 洗濯女たち	1889	ジンコグラフ、紙
		●	ステファーン・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、 エングレーヴィング、紙
エミール・ベルナール	1868-1941		ポンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
モーリス・ドニ	1870-1943		なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
アリスティド・マイヨール	1861-1944		やぎか むすめ 山羊飼いの娘	1890頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ	1864-1927		もり なか たきび 森の中の焚火	1889-90頃	油彩、画布
			き ぶつだ 消えゆく仏陀―オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布